

2016 年 9 月 29 日  
株式会社みずほ銀行



MIZUHO FinTech



## 「Transaction Lending/Saving」を活用した「MIZUHO カレンダー by CRECO」 の提供開始について

～みずほ銀行 API の提供による IT Realize の「CRECO アプリ」と  
「みずほダイレクトアプリ」の連携～

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、アイ・ティ・リアライズ株式会社（代表取締役：尾上 正憲、以下「IT Realize」）と連携し、クレジットカードの引落情報や預金口座の残高情報等の金融取引に関するビッグデータを活用した新しい金融サービス手法である「Transaction Lending/Saving」を用いた「MIZUHO カレンダー by CRECO」の提供をこのたび開始しました。

「Transaction Lending/Saving」とは、個々の金融取引情報（ビッグデータ）に基づいて、資産形成・運用や、お借り入れなどを自動的にご案内する金融サービスの形態です。

個人のお客さまのもっとも多いニーズの一つとして、クレジットカードの引落情報に関する内容確認があります。お客さまは、本サービスのご利用により、クレジットカード引落日に引落預金口座の残高の過不足が発生するか否かを、事前に自動で確認することができ、さらに、過不足が発生すると予測される場合には、適切と想定される金融取引サービスをお受け取りいただくことができます。

本サービスは、IT Realize が提供する「CRECO アプリ」のクレジットカード明細・引落情報と、みずほ銀行の「みずほダイレクトアプリ」の預金口座の残高情報を相互に連携させることにより、実現しております。また、本サービスでは、みずほ銀行が「みずほダイレクトアプリ」の API（※）を IT Realize へ提供しており、金融業界のサービスにおいては新しい試みの一つです。

みずほ銀行は、お客さまのニーズやシーズに基づき、FinTech を活用した利便性の高い、具体的サービスの提供にチャレンジし続けていきます。

（※）「API」とは「Application Programming Interface」の略。外部のサービス等とのシステム連携をするためのプログラムやインターフェース。API の提供により、自社サービスの機能を外部企業へ開放することが可能となり、より多くのお客さまへ簡便に自社サービスを利用していただくような仕組みが構築できる。

## 画面イメージ

### みずほダイレクトアプリ



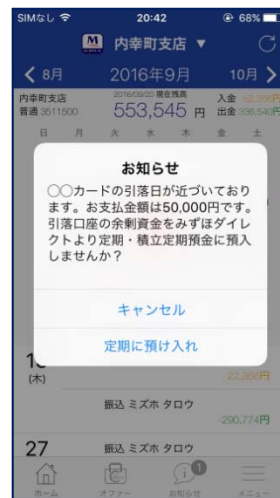
CRECO アプリとの連携を表示

### CRECO アプリ (MIZUHO カレンダー)



みずほ専用のカレンダー表示

### CRECO アプリ (お知らせ)



想定される金融サービスをご案内

資産形成等の  
取引画面へ

以 上